

このたびは CAPRICE をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございました。この取扱説明書をよくお読みになって、製品を安全にお使いください。お読みになった後は、いつでも見られる場所に保管してください。フィデリックス製品は安全性に充分配慮して設計されていますが、しかし、全ての電気製品は誤った使いかたをすると、火災や感電などの人身事故になる恐れがあり危険です。事故を防ぐためには下記の注意事項をよくお読みになって、必ずお守りください。

- 1 動作がおかしくなったり、電源コードが破損しているのに気付いたら、すぐに電源コードをコンセントから抜き、お買い上げ店、またはフィデリックスに修理をご依頼ください。
- 2 水や異物が入ると火災や感電の原因になります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源コードをコンセントから抜き、お買い上げ店、またはフィデリックスに修理をご依頼ください。
- 3 本体を布団などでおおった状態で使わないで下さい。熱がこもって火災の原因になる可能性があります。雷が鳴りだしたら、本体には触れないで下さい。感電の原因になります。

リアパネル側

AC IN このコードを AC100V で 50Hz/60Hz の商用電源に接続します。直出しのコードで真価を発揮するよう、細心の注意を払って設計されています。また、最近ではいろいろな電源機器が発売されていて、良くできているものもありますが、なかには、

- 1 電源の波形は綺麗なサイン波にはするものの、スイッチングノイズを発生させ、高域に輝きすぎるクセが付いたり、条件によっては小さなジューという電氣的なノイズを混入させるものがあります。
- 2 電氣的なノイズは抑制するものの、電源インピーダンスが上昇し、低音楽器のエネルギー感を損なわせるものがあります。
- 3 うなり音や風切り音を出し、それによって再生音に悪影響を与えるものがあります。
- 4 電源容量が少なく、瞬間的なピーク電流が不足したり、発熱の原因になるものがあります。
- 5 何ら科学的な根拠もなく、おまじないグッズのようなものがあります。

以上のような機器を使用すると性能を損ねるだけでなく、無用なトラブルが生じる可能性もありますので使用に当たっては十分な検討を加えたくて使用してください。

Aux-1&2 入力 ここに RCA のアンバランス信号を入れます。入力インピーダンスは約 50k Ω なので真空管アンプとも組み合わせられます。AUX1 はオプションでフォノイコライザーが選択できます。

Coax-1&2 入力 ここにコアキシャルの入力を入れます。

Tos-1&2 入力 ここに角型のトスリンクを入れます。

Coax-2, Tos-2 切り替えスイッチ COAX2, TOS2 の切り替えをします。ボールペンの先などで切り替えます。

GND 端子 GND 端子で、フォノイコライザーを使うときのアームのアースを接続します。モーターのアースは特に問題がない限り接続しないことをお勧めします。

XLR 出力 本機の最も高品質な出力端子で、世界標準の 2 番ホットになっています。ボリュームを通過しないアンバランスのダイレクト出力として使いたい場合は 2 番と 1 番のみを使用し、3 番はどこにも接続しない XLR から RCA の変換ケーブルの使用を推奨いたします。3 番と 1 番をショートしたとしても最高の音質が発揮されないだけで壊れることはありません。

RCA 出力 RCA の出力で、前面ボリュームとラインアンプを経由しますので、使用方法によってはとても便利に使えます。異なるサウンドポリシーのプリアンプを接続するよりは、統一したサウンドポリシーが得られます。

将来に備えた穴 将来に備えた穴で 12S ケーブルやフォノ EQ カーブの切り替えスイッチが付けられます。

フロントパネル側

電源スイッチ このスイッチで電源のオンオフをします。電源を切れば待機電力はありません。

LED 電源スイッチを入れると橙色に点灯します。DAC としての動作時に信号にロックした場合は緑色に変わります。

入力セレクター Aux-1, Aux-2, Coax-1, Coax-2orTos-2, Tos-1 の切り替えをします。Aux-1, Aux-2 を選択した場合のみ、12S(DSD)または Coax-1 の信号は Aux-1, Aux-2 にミックスし、Coax-2orTos-2, Tos-1 の信

号はミックスしない仕様となっています。I2S (DSD) または Coax-1 のソースを停止すれば、全くミックスしなくなります。この性質を理解した上で使いこなすようにしてください。なお、Aux-1, Aux-2 を使わなければ普通の分かり易い使用方法です。

ボリューム これはヘッドフォンと RCA 出力に対してのみ効きます。ピュアーな音をポリシーとしていますので、プリアンプは使用せず、パワーアンプにダイレクト接続する場合に備えたものです。これによって統一したサウンドポリシーが得られます。なお、使わないときは絞っておいて下さい。

ヘッドフォン出力 ヘッドフォン用の出力です。RCA 出力を使用する場合や、使わないときは、なるべく抜くようにしてください。

リモコン受光窓 リモコンの光を受ける窓です。

底面側

ディップスイッチ 特に理由か無い限り、全て内側が標準設定です。

1 を内	1 を外	1 を内	1 を外	1 を内	1 を外	1 を内	1 を外
2 を内	2 を内	2 を内	2 を内	2 を外	2 を外	2 を外	2 を外
Lowest	Low	Mid	Mid	Highest × 128	Highest × 128	Highest × 128	Highest × 128
3 を内	ジッターエリミネータをオン	3 を外	ジッターエリミネータをオフ	3 を内	ジッターエリミネータをオン	3 を外	ジッターエリミネータをオフ
4 を内	オーバーサンプリングをオン	4 を内	オーバーサンプリングをオン	4 を外	オーバーサンプリングをオフ	4 を外	オーバーサンプリングをオフ
5 を内	シャープロールオフ	5 を内	シャープロールオフ	5 を外	スローロールオフ	5 を外	スローロールオフ
6 を内	ステレオ	6 を内	ステレオ	6 を外	モノラル	6 を外	モノラル
7 を内	モノ左、ステレオ時は DSD フィルタオフ	7 を内	モノ左、ステレオ時は DSD フィルタオフ	7 を外	モノ右、ステレオ時は DSD フィルタ 60kHz	7 を外	モノ右、ステレオ時は DSD フィルタ 60kHz
8 を内	8 を外	8 を内	8 を外	8 を内	8 を外	8 を内	8 を外
9 を内	9 を内	9 を外	9 を外	9 を内	9 を内	9 を外	9 を外
10 を内	10 を内	10 を内	10 を内	10 を外	10 を外	10 を外	10 を外
I2S		左詰め	左詰め	右詰め 16	右詰め 20	右詰め 24	右詰め 32

PLL のバンド幅について PLL のバンド幅を狭くすると入力信号に含まれるジッターの悪影響を抑制した高音質が得られます。その代わりにトランスポートとの相性問題なども発生し易くなり、まれにロック外れによって音が途切れる場合があります。フィデリックスとしてはベストな音質を目指すポリシーから、狭い初期設定にしています。もしもロック外れが起きる条件ではディップスイッチの 2 を右に設定すれば、おおむね手堅い動作を得ることができます。

また、フィデリックスでは水晶を強めに振動させていますので、電源オンから 1 分ほどは、まれにロックが外れることもあります。これも音質重視設定のためです。

設置の方法 音質を重視しているため、ハードな足を使用しています。台に傷をつけ易いので傷を気にする場合は硬質プラスチックのシートなどを使用するなどの工夫をしてください。金属シャーシの機器の上に直接は乗せないようにしてください。本機の性能が十分に発揮されない可能性が僅かにあります。こういった場合も硬質な絶縁物を挟むことを推奨いたします。

エージングについて 水晶振動子というデバイスは以外にもエージングが必要なデバイスです。本領を発揮するのは累計で 1 週間位掛かるようです。その後は普通に電源を入れれば 10 分ほどで安定するようです。

リモコンについて CAPRICE のリモコン信号は VICTOR 社の TV 用に設定しています。このため初期設定のまま使用することができます。本体のセレクタースイッチが Coax-2 & Tos-2 のポジションでのみリモコンによる入力切り替えができます。リモコンスイッチ 1 で Coax-1、スイッチ 2 で Coax-2 & Tos-2、スイッチ 3 で Tos-1 が選択できます。チャンネルのアップダウンボタンでも変えることができます。リモコンの音量アップダウンボタンでデジタルボリュームのアップダウンが 2dB ステップで調整できます。しかし電源投入時は常に最大となりますが、最大で通常の DAC 出力になります。

I2S 仕様について PS Audio 準拠の I2S 仕様です。ご使用する場合は、ディップスイッチの 2 を右にした、バンド幅を Mid 位置にしてください。詳細は当社にご連絡をお願いいたします。

DSD 仕様について L、R、Clock の 3 信号による DSD 形式ですが、HDMI コネクタを使ったフィデリックス独自の DSD 専用機となり、SPDIF 信号は使えません。また AV アンプ規格の HDMI による DSD 信号にも対応

していません。詳細は当社にご連絡をお願いいたします。

AES/EBU と USB について CAPRICE はこれらの入力をあえて備えておりませんので、コアキシャルまたは光に変換をしてからの使用を推奨いたします。詳細は当社にご連絡をお願いいたします。

PHONO EQ 仕様について MM 用や高出力 MC 用になっていますので、低出力 MC を使う場合は、トランスまたはヘッドアンプをご使用ください。高出力 MC は信号経路がシンプルになるので、以外にも高いクオリティーが得られます。LP/SP 用のカーブ切り替えスイッチもオプションで付けられます。

出力ケーブルについて 本機の XLR 端子はバランス出力としてもアンバランス出力としても同等の音質クオリティーです。しかし、受けるアンプによってはバランス入力とアンバランス入力でのクオリティーに差のある場合があります。DAC チップはバランスタイプなのでバランス出力もバランス伝送も簡単ですが、バランス入力は何かと難しいのです。フルバランスではないアンプはバランス・アンバランスの変換回路が余計に入り、これを經由することによって、音の鮮度が落ちることがあります。そこでアンバランス入力の方が高い音質クオリティーの場合用に、バランス・アンバランス変換ケーブルを用意しました。

なお、CAPRICE と CERENATE をバランスで接続すると音量調整はデジタルボリュームで行うことになり、この演算は 32bit で行われるので、ビット落ちは無視できる筈でした。しかし、実際にはスピーカーのごく近くでは、音が若干デッドになるのが分かります。スピーカーから離れば非常に分かりにくくなります。そのためこだわりを持つなら、XLR からアンバランスの RCA に変換してから CERENATE へ接続し、CERENATE 側のボリュームで音量調整することを推奨いたします。フィデリックスで推奨する変換ケーブルはモガミ電線の 2803 にノイトリックの XLR メスを取り付けたもので、2 番ホット、3 番オープンです。いずれも左右 1 ペアで税送料込みの価格です。

0.5m	18,000 円	0.7m	19,500 円
1.0m	22,500 円	1.5m	27,000 円

送金先は三井住友銀行清瀬支店普通口座 3064084 有限会社フィデリックスです。

主な仕様 出力電圧 5V (XLR)。SN 比とダイナミックレンジ 131dB (参考値)。歪: 0.0008% (FS 時の参考値)。電源と消費電力: AC100V ± 10%、50/60Hz、定格電力 15W (実測値)。電源線はアース端子の無い 2 線式。突起部含まない本体寸法と重量: 約 150 (W) × 50 (H) × 250 (D)、約 1.8kg 動作温度: 5° C ~ 35° C

アフターサービスと部品の保有期間など

- 1 この製品には保証書が添付されていません。保証期間は、お買い上げ日より 3 年間で、購入時の伝票 (コピーでも可) や振込み記録などが保証書の役目を致します。
- 2 調子が悪いときはこの説明書をもう一度ご覧になってお調べください。それでも改善されないときはお買い上げ店、またはフィデリックスにご相談ください。
- 3 保証期間中の修理は自然故障に対して無償で修理を致します。保証期間経過後は修理することによって機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理をさせていただきます。
- 4 当社では、補修用性能部品 (製品の機能を維持するために必要な部品) を、製造打ち切り後最低 8 年間保有致します。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。しかし、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、フィデリックスにご相談ください。
- 5 正しい分解方法によらないで、無理やり分解をすると壊れます。仮に分解できたとしても特殊工具がないと組み直すことはできません。当然ながら分解をすると保証期間内であっても無償修理は適用されません。
- 6 本機の仕様および外観は、都合により予告なく変更することかありますが、ご了承ください。
- 7 CE マークは、法的に強制されている国「主として EEA (欧州経済地域) に加盟している国」向けに販売した製品に対してのみ有効です。
- 8 本機についてご不明な点や技術的なご質問、故障と思われる時のご相談については、下記までお知らせください。お問い合わせの際は、型名 CAPRICE、およびそのお買い上げ年月日、ご相談内容などできるだけ詳しくお知らせください。